

「手紙シリーズ」第3弾 詳細が明らかに!

  
SALAMANCA HALL

# 石原佳世&岡崎章 ピアノデュオ ロシア・ルネサンス—銀の時代からの手紙—

2018.11.1(木) サラマンカホール

開演19:00(開場18:30)

2014年「ショパンからの手紙」ではショパンの姉ルドヴィカ、2016年「印象派からの手紙」ではサティ…。手紙シリーズ第3弾「ロシア・ルネサンス～銀の時代からの手紙」では、だれが登場するのか…なんとアントン・チャーホフ。19世紀末の劇作家で小説家のチャーホフは、「ロシア銀の時代」の作曲家たちより少し前の人物です。今回は、チャーホフ4大戯曲の一つ「ワーニャ伯父さん」を俳優の小菅紘史さんが朗読します。「ワーニャ伯父さん」の“どうしようもない人々”が語る言葉と、ラフマニノフやプロコフィエフらのピアノ曲とが絡みあい、「ロシア」があぶりだされてきます。



<プログラム> \*チラシ記載の曲目から変更されています。

- ラフマニノフ /  
2台のピアノのための《組曲 第2番》Op.17より  
第2曲 “ワルツ”
- プロコフィエフ /  
4つの小品 Op.4より 第4曲《悪魔的暗示》
- ストラヴィンスキー /  
《春の祭典》(連弾版) 第1部 “大地礼賛”より  
～春の輪舞～競い合う部族の戯れ～賢者の行進～
- ショスタコーヴィチ /  
2台のピアノのための《タランテラ》Op.97b
- スクリャービン /  
《プロメテウスの回想》交響曲 第5番  
“プロメテウス—火の詩” Op.60より
- ラフマニノフ /  
幻想的小品集 Op.3より 第1曲《悲歌(エレジー)》



『ワーニャ伯父さん、生きていきましょうよ。長い、はてしないその日その日を、いつ明けるとも  
知れない夜また夜を、じっと生き通していきましょうね。運命がわたしたちにくだす試みを、辛抱  
づよく、じっとこらえて行きましょうね』

(「ワーニャ伯父さん」神西清訳より)



朗読:小菅紘史

チケット 自由席 **500円** 好評発売中 チケットセンター TEL058-277-1110

\*メイト指定席(最大180席。10/25迄) \*未就学児の入場はご遠慮ください。

主催:サラマンカホール